

環境にやさしい工夫：屋外照明



屋外の照明器具は、必要以上に明るくするとまぶしすぎたり、動物・植物の生育にえいきょうを与えたり、また星の観測がしにくくなったりするので、そのようにならない形の器具をえらびました。

また、太陽の光をうけて発電し、その電気をためておいて、夜に照明として点灯するしくみとなっているものもあります。

環境にやさしい工夫：屋光センサー・人感センサー



屋光センサーとは室内の明るさを感じ、暗くなるると自動的に人工照明を点灯させるように信号を出します。自然の光が得られるときは、自然光を最大限に生かすための工夫です。

また、人感センサーは、人がいるのを感じて人が使うときに自動的に人工照明を点灯させるように信号を出します。人がいなくなるとまた自動的に消灯します。

両方とも、必要なときだけ人工照明を点灯させるので、照明用の電気の使用量を減らすことができます。



環境にやさしい工夫：太陽熱温水利用



屋上に設置した温水パネルに太陽熱を集め、出来た温水をタンクに集め館内の給湯に利用しています。



環境にやさしい工夫：高効率照明器具



照明器具はできるだけ消費する電力量の少なく、明るさの得られる効率のよいもの(HI型蛍光灯、コンパクト型蛍光灯など)を使っています。

これらはランプの寿命が長いことも特長です。ランプ交換の回数が減り、建物の管理がしやすくなります。

照明器具に近づくと暑いよね。効率のよい省電力のランプは、発熱する量も少ないので、冷房に必要なエネルギーが減るといいうメリットもあるんだよ。

もどる

環境にやさしい工夫：ライトシェルフ



ライトシェルフとは光の棚、つまり光が反射しやすい棚を窓面に設け、射し込む太陽光を建物内部のより奥深くまでみちびくための工夫です。

光を室内により浸透させるためのよ。

環境にやさしい工夫：氷蓄熱システム



夜の間に、次の日の昼間に必要な冷房・暖房用の熱をつくって貯めておき、昼間にその熱を使って冷房・暖房をするシステムです。昼間いっぺんにみんなが電気を使うと、発電所や建物内の電気設備がパンクしてしまうので、それを防ぐことができるのです。

水の蓄熱システムは、水蓄熱と比べて小さいスペースで大きな熱を貯めることができますという特長があります。